

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	38649	
事業名	新型コロナウイルス感染症患者等対策費						
評価担当課	所属名	保)保健所 管理課					
	課長名	木田	担当者名	田中	電話番号	011-788-3562	
施策名	主	—					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	当該事業を実施することで、新型コロナウイルス感染症の発生防止及び発生時の迅速な収束を目指す。				
		長期	当該事業を実施することで、長期的な観点から、新型コロナウイルス感染症の発生及びまん延の減少を目指し、市民の健康を維持する。				
	取組内容	新型コロナウイルス感染症に対応するため、以下事業を実施する。 ①検査、②検体搬送、自己検体採取、③患者等移送、④クラスター早期介入体制整備、⑤自宅療養対応等					
	実施結果	主な実施結果 ・検査(診断:1,043,284件、変異株:195件、ゲノム解析:2,574件、スクリーニング:207,211件) ・患者移送(18,926人) ・自宅療養対応(自宅療養セット配送:247,809件、パルスオキシメータの配送:93,006件)					
事業実施における工夫点	検査により新型コロナウイルス陽性患者を探知のうえ、症状等に応じて医療施設等への移送や、自宅療養者への適切な療養支援を行う。						
対象者	市民			開始	令和3年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下、「感染症法」という)。						
他都市の状況	新型コロナウイルス感染症は世界的に発生しており、他都市においても、法令等に基づき各種対策事業を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		14,467,994	22,222,000	14,316,706	18,743,000
うち特定財源		7,987,835	16,993,608	12,656,487	13,734,715
人工		65.0	68.0	62.0	57.0
人件費		468,000	489,600	446,400	404,700
計(事業費＋人件費)		14,935,994	22,711,600	14,763,106	19,147,700
事業費 の内訳	令和4年度決算	決算額：14, 316, 706千円(内訳は以下のとおり) ①検査：5, 314, 897千円、②検体搬送、自己検体採取：60, 587千円、③患者等移送：2, 072, 185千円、④クラスター早期介入体制整備：45, 156千円、⑤自宅療養対応等：6, 568, 022千円、⑥陽性者登録センター：255, 859千円			
	令和5年度予算	予算額：18, 743, 000千円(内訳は以下のとおり) ①検査：7, 026, 187千円、②検体搬送、自己検体採取：1, 038, 919千円、③患者等移送：2, 274, 125千円、④クラスター早期介入体制整備：56, 254千円、⑤自宅療養対応等：7, 133, 284千円、⑥陽性者登録センター：214, 231千円、★機動的対応分：1, 000, 000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	新型コロナウイルス感染症対策事業のため指標設定になじまない			
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定	
活動指標2		指標名				
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定	
成果指標1		指標名	新型コロナウイルス感染症対策事業のため指標設定になじまない			
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	
成果指標2		指標名				
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症から市民の生命や安全を守るため、当該事業において検査、検体搬送、患者移送及び自宅療養対応等の各種事業を着実にを行った。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	当該業務は、国が示している新型コロナウイルス感染症対策の内容や感染症法等に基づき実施しており、事業の規模や水準は他都市と比較しても妥当である。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	事業の実施については、外部委託化等を進める等、効率化を図った。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	市民生活を守るため確実かつ迅速な事業実施に努めた。				
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外 市民参加結果への対応 ☒ 回答 ☐ 反映					
今後の改善点	新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが5類化に移行となったことから、当該感染症の対策事業についても国が示す方針や感染状況等を踏まえ、事業の見直しを行っていく。					
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	陽性者自身が症状等をWeb上で登録することにより自動的に療養判定がなされるサイト及び登録センターの運営、自宅療養者への食料品提供内容の見直し等			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	市民生活を守るため必要な事業である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 休止・廃止 上記『今後の改善点』記載の通り、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが5類感染症へ移行となったことから、当該感染症の対策事業については順次廃止・縮小している。このことから、次年度においては国が示す方針等により必要となる最小限の事業に留まる見込み。				
		予算	☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 ☐ その他 上記理由により、予算についても大幅な縮小が見込まれる。			
				見直し効果額	0	千円